

大学名	神戸大学		
University	Kobe University		
学部/研究科	医学研究科		
Faculty/Department	Graduateschool of Medicine/Genetic epidemiology		
研究指導者	西尾 久英	職名	教授
Research Advisor	Hisahide Nishio	Position	Professor
帰国留学生	インドラ・サリ・クスマ・ハラハップ		
Former International Student	Indra Sari Kusuma Harahap		
派遣期間	2015年3月2日 ~ 2015年3月9日 (8日間)		
Period of Stay	8 days (March 2, 2015 - March 9, 2015)		

### <帰国留学生プロフィール/Profile>

国籍	インドネシア
Nationality	Indonesia
所属機関	ガジャマダ大学
Affiliation	Gadjah Mada University
現在の職名	講師
Position	Lecturer
研究分野	分子遺伝学
Major Field	Molecular genetics



インドラ・サリ・クスマ・ハラハップ  
Indra Sari Kusuma Harahap

### <研究指導者からの報告/Research Advisor Report>

①研究指導概要 / Outline of Research Guidance
<p>(1) ジョグジャカルタ市に滞在中に、ガジャマダ大学において、帰国学生への研究指導を含む種々の学術活動を行った。「神経筋疾患における分子遺伝学的診断の重要性」、「先天性パラミオトニア」、「論文の書き方」の講義を行った。また、「脊髄性筋萎縮症」セミナーを開催し、疾患の病因、診断法、スクリーニング法の開発、新規治療法の開発について意見を交換した。さらには、インドネシア生化学会、分子生物学会で、「脊髄性筋萎縮症」に関する講演を行った。</p> <p>(2) 神戸大学とガジャマダ大学との交流活動としては、ダブルディグリー(複数学位)について大学院教育責任者と話し合った。また、ガジャマダ大学創立記念行事に参加した。さらには、ガジャマダ大学関連病院、および大学附属病院(アカデミック・ホスピタル)も見学した。</p>
②研究指導の成果 / Results of Research Guidance
<p>(1) 「神経筋疾患における分子遺伝学的診断の重要性」の講義では、DNAを用いた遺伝子診断の簡便性と重要性について述べるとともに、その限界についても述べた。講義の中で、責任遺伝子が同定されていない疾患、複数の疾患遺伝子が考えられる疾患、多重遺伝子変異による疾患、疾患感受性遺伝子のみ知られている疾患については、遺伝子診断が最終診断に結びつかないことも示した。この講義は、ガジャマダ大学医学部の神経内科医が非常に喜んでくれた。</p> <p>(2) 「脊髄性筋萎縮症」「先天性パラミオトニア」の講義では、特異な症状を有する小児患者の診断方法について述べた。これらの疾患は、ガジャマダ大学医学部の小児科医にあまり知られていないものであったが、聴衆の反応は良かった。</p> <p>(3) 「論文の書き方」の指導にあたっては、臨床研究の出発点、論文の構成、論文執筆上の注意点について述べた。この指導は非常に感謝された。</p>
③訪問大学等での学術交流 / Scholarly Exchanges Done at Universities Visited, etc.
<p>(1) 日程: 2015年3月2日に日本を立ち、同日ジョグジャカルタ市に入った。3月9日にジョグジャカルタ市を立ち、翌3月10日に日本に帰国。</p> <p>(2) 学術交流: 3月3日、Harahap氏の所属するガジャマダ大学神経内科学教室で、「神経筋疾患における分子遺伝学的診断の重要性」の講義を行い、「論文の書き方」についても、具体例を挙げて指導した。「神経筋疾患における分子遺伝学的診断の重要性」の講義では、DNAを用いた遺伝子診断の簡便性と重要性について述べるとともに、その限界についても述べた。講義の中で、責任遺伝子が同定されていない疾患、複数の疾患遺伝子が考えられる疾患、多重遺伝子変異による疾患、疾患感受性遺伝子のみ知られている疾患については、遺伝子診断が最終診断に結びつかないことも示した。この講義は、ガジャマダ大学医学部の神経内科医が非常に喜んでくれた。「論文の書き方」の指導にあたっては、臨床研究の出発点、論文の構成、論文執筆上の注意点について述べた。この指導は、大学院生のみならず、臨床医にとっても非常に有益だったようで、あとで非常に感謝された。</p> <p>3月4日午前、ガジャマダ大学小児科学教室で、「先天性パラミオトニア」の講義を行い、「論文の書き方」についても指導した。「先天性パラミオトニア」の講義では、特異な症状を有する小児患者の診断方法について述べた。この疾患は、ガジャマダ大学医学部の小児科医にあまり知られていないものであったが、聴衆の反応は良かった。</p> <p>3月4日午後、ガジャマダ大学生化学・医科学教室で、「脊髄性筋萎縮症」セミナーを開催し、疾患の概要、診断法、スクリーニング法の開発、新規治療法の開発について意見を交換した。私は、疾患の概要について説明した。神戸大学の研究室を巣立って行った、ガジャマダ大学の若手研究者たちが、診断法、スクリーニング法の開発、新規治療法の開発について研究発表を行い、意見交換が行われた。</p> <p>3月7日午前、インドネシア生化学会、分子生物学会で、「脊髄性筋萎縮症」に関する講演を行った。インドネシア国の各地から集まった研究者たちの数人が、私の講演に対する鋭い質問をしてくれた。</p> <p>(3) 情報交換: 3月2日、ダブルディグリー(複数学位)について、大学院教育責任者と話し合った。インドネシア国の医学部教育、大学院教育のシステム(特に修業年限)が、日本とは異なっている点について議論を重ねる必要を感じた。</p> <p>(4) 交歓行事: 3月5日、ガジャマダ大学創立記念行事に参加した。3月6日、ガジャマダ大学医学部附属病院(アカデミック・ホスピタル)を見学した。</p>

<帰国留学生からの報告/Former International Student Report>

①研究指導の成果 / Results of Research Guidance

Prof.Nishio gave some lectures in some departments. He also gave some guidance to start a research and making a publication. I got tips about my research in Indonesia and knowledge to publish a paper in international journal.

②今後の計画 / Further Research Plan

We discussed a lot of things about my research in Yogyakarta. I am at Neurology Department and my research focused on neuromuscular topics. I started research inYogyakarta about Spinal Muscular Atrophy, the same topics with my doctoral study in Japan, under Prof.Nishio's supervision.

③本事業に対する意見・感想等 / Your general impression and opinion about the Follow-up Research Guidance

I would like to give appreciation and my biggest thankfulness to the Japanese Government for having this Follow-Up Research Guidance Programme. I am very much pleased to have a follow-up guidance from Prof. Nishio and make an agreement to have collaboration.



ガジャマダ大学神経内科学教室  
Department of Neurology, Gadjah Mada University



ガジャマダ大学同窓会館  
Alumni Hall, Gadjah Mada University